



## 子供たちへのサポート！

選手の育成にあたり、JSCのスタッフも指導のあり方など講習会参加や指導者ライセンス等を取得し、日々勉強をしています。

以下は、日本サッカー協会「U-12指導指針」からの抜粋です。

子供たちへの接し方 ～U-12ジュニア年代から成長していくこどもたちへのサポート。

【子供たちの自立へのサポートをしてあげましょう。】

サッカーに関わるいろいろな準備、後片付けをはじめ、「自分のことは、自分でやる。」という習慣が身につく時期です。

学習、健康管理、食事を含めた栄養への意識なども徐々に自分なりに取り組むことのできる「自立」へのサポートをしていきましょう。

失敗があっても当然です。チャレンジしていくことを励ましていきましょう。ゆえに、時にはじっくり「待つ」ことも大切です。

【応援について】

●試合や練習を見にいきましょう。

・・・出来る限り時間を作って、子供と楽しみの時間を共有してください。子供もそれを望んでいるはずです。

●選手たちの「判断」を尊重しましょう。

・・・自分で「判断」をし、プレーすることがサッカーで最も楽しく、そして重要なことです。外からの声(応援ではなく戦術的な指示)で彼らの「判断」に圧力をかけないようにしましょう。

●レフリーの判定を批判しないようにしましょう。

・・・例えミスジャッジがあったとしても、それを含めて「サッカー」というスポーツなのです。子供たちがフェアプレーを学ぶ妨げにならないようにしましょう。

●試合では、すべての子供を応援しましょう。

・・・自分の子供だけにならないように、チームのサポーターになってください。

●試合では、相手の良いプレーにも拍手しましょう。

・・・相手チームは「敵」ではなく、「サッカーを愛する仲間」です。相手チームの良いプレーに対しても拍手することが、子供たちにとっても、良い影響を与えるはずですよ。

●試合が楽しかったか、エキサイティングであったか、聞いてみましょう。

・・・大切なのは、勝敗よりもサッカーを楽しむことです。結果やプレー内容にこだわった聞き方をしていると、勝敗に対するプレッシャーを与えてしまい、子供の心は離れていきます。

●勝敗で子供たちにプレッシャーをかけないようにしましょう。

・・・目先の勝利よりも、一人ひとりの選手が将来に向けて大きく育つことが重要です。親が勝敗にこだわってしまうと、結局はそのしわ寄せが子供たちにくることになってしまいます。

### 【栄養・食事】

良い選手になるためには好き嫌いをなくし、十分な睡眠をとらせるようにしましょう。特に成長期に入ってくるこの年代のこどもたちには非常に大切なことです。

### 【いろいろなスポーツに親しませましょう。】

いろいろなスポーツに親しむことは、さまざまな運動機能を開拓し、生涯スポーツを楽しむ上でも、もちろんサッカー選手としての可能性を高める上でも大切なことです。

みなさん、『子供たちの喜ぶ笑顔がみられたら・・・』と思いサポートされることと思います。子供たちも、お父さん、お母さん、そして応援して下さった方の笑顔がみたいと思います。だからこそ、みんな力を併せて子供たちをサポートしてください。